

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

木製おもちゃの誤嚥による窒息 (No.47 木製おもちゃの誤嚥による窒息の類似事例 3)

事例	基本情報	年齢：2歳4か月 性別：女児 体重：12kg 身長：90cm
	家族構成	父、母
	発達・既往歴	発達：年齢相当 既往歴：特記すべき既往なし
臨床診断名		異物誤嚥、窒息、低酸素性脳症
医療費		入院 3,100,000 円
原因対象	対象名称	レモンを模した木製の玩具（おままごとセットの玩具。マグネット式で2つに分離できる。口腔内に入っていたのは分離した半分のレモン）（図1）
	入手経路 使用状況	店頭で購入した。購入した時期は不明。自宅で毎日のように遊んでいたと思われる。
発生状況	発生場所	自宅（詳細な場所は不明。おそらくリビング）
	周囲の人 周囲の環境	母と自宅で過ごしていた。
	発生年月日	2020年11月X日（月）午後4時25分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	上記時刻、母と在宅中に本児一人でおままごとをしていた。レモンを模した木製の玩具（おままごとセット）を口に入れていたところを母が発見した。そばにいた母が「口に入れちゃダメ」と注意していた直後に口から出せなくなり、救急要請した。 救急隊が現場到着時、喘鳴を認め、SpO ₂ 70%と低下を認めた。受け答えは可能で、自発呼吸は保たれており、リザーバーマスクで酸素10L/min投与下でSpO ₂ 99%、脈拍数150/分、収縮期血圧150mmHgであった。搬送中、午後5時13分に心肺停止となり胸骨圧迫を開始され、医療機関に搬送された。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>午後 5 時 16 分（心肺停止から 3 分後）に医療機関に到着した。到着時、対光反射は残存するも心電図波形は無脈性電気活動（PEA: pulseless electrical activity）であった。胸骨圧迫は継続され、骨髄路を確保後に、アドレナリンを投与された。口腔内の多量の吐物により、誤嚥した異物の確認に難渋した。マギール鉗子で把持できず、用手的に掻き出し異物が除去された。その後、速やかに気管挿管された。心肺停止から 22 分後（午後 5 時 35 分）に心拍が再開した。それまでに、アドレナリンは計 5 回投与した。同日集中治療室へ入院した。</p> <p>入院後は低酸素性脳症治療のため平温療法と神経集中治療を行った。入院 51 日目に一時的に人工呼吸器から離脱でき、その時点での頭部 CT 検査および MRI 検査で、低酸素性脳症と確定診断した。入院 90 日時点では、聴性脳幹反応は保たれているが自発呼吸は極めて弱い状態であり、人工呼吸管理を継続している。</p>
------------------------------	--

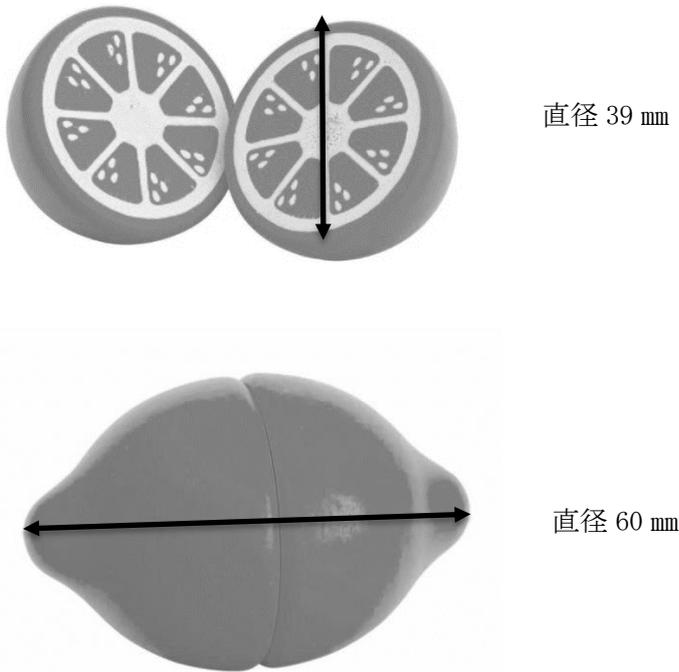


図 1. 原因となった対象物。レモンを模した木製の玩具の半球が咽頭にはまり込んでいた。